

木造小屋組の耐風性能向上のための設計施工技術地域講習会

～近年の台風被害を踏まえた木造小屋組の耐風性能向上のための留意点と対策の解説～

(令和3年度 国土交通省補助事業)

◆講習会の内容

近年の台風被害を踏まえ、国土交通省 国土技術政策総合研究所に設けられた小屋組検討WGにおいて、耐風性能向上のための接合部仕様の内容が取りまとめられたことから、その内容に準拠して、小屋組の設計施工上の留意点と対策をまとめた解説書を用いて、木造住宅の設計、施工に係る技術者を対象とする技術講習会を開催します。

本講習会の前半では木造で最も普及率の高い木造軸組構法住宅を対象として、壁量計算、N値計算等をはじめとする基礎的な内容について建築基準法の木造に関する規定に沿って解説を行います。後半では前述の解説書を用いて耐風性能向上のための小屋組仕様の詳細や設計施工上の留意点と対策について解説を行います。

- 主催 (公財)日本住宅・木材技術センター
 共催 (一社)JBN・全国工務店協会、全国建設労働組合総連合
 協力 国土交通省
 後援 国土技術政策総合研究所、(国研)建築研究所、(独)住宅金融支援機構、(公社)日本建築士会連合会、
 (予定) (一社)日本建築学会、(一社)日本木造住宅産業協会、(一社)東京建築士会、
 (一社)千葉県建築士会、(公社)大阪府建築士会、(一社)宮城県建築士会、(公社)福岡県建築士会

開催地	開催日時	会場	定員
仙台	2022年2月16日(水) 13:00~16:40(12:30開場)	仙都会館 8階会議室 仙台市青葉区中央2-2-10	40名

講師(順不同、敬称略)	内容
(一社)JBN・全国工務店協会 芳西 直史 全国建設労働組合総連合 加藤 宏幸	◇「木造軸組構法住宅の構造計画」 ◇「耐風性能向上のための留意点及び対策方法」 ◇「建築士事務所の保存図書の見直しの内容」
(公財)日本住宅・木材技術センター 鈴木 圭 ※上記の何れかの方が担当します (順不同、敬称略)	テキスト (仮称)木造軸組構法住宅の構造計画 2021年版 耐震・耐風性能向上のための壁量計算等の基礎的な解説・演習から告示の最新情報まで 発行：(公財)日本住宅・木材技術センター (令和3年11月 第1版3刷発行予定、2,970円(税込))

種別	受講料	テキスト代
一般	無料	2,970円
住木センターの賛助会員		2,673円

◆お申し込みは FAX もしくは [お申込み専用ページ](#) から

<http://www.howtecs.shop-pro.jp/>

◆CPD認定プログラム(予定)

- ◆テキストは1人1冊ご準備下さいますようお願いいたします。(隣同士に並んで座ることができません)
- ◆テキスト込みでお申込の方は当日会場でお渡しします。(当日、会場での販売は行いません)
- ◆新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて運営いたします。
- ◆開催日当日はマスクの着用や、せきなどの風邪症状が現れた場合はご出席をご遠慮頂く等、ご協力をお願い申し上げます。
- ◆最小開催人数に達しない場合や新型コロナウイルス感染症防止対策上等、やむを得ず中止又は延期となる可能性があります。講習会の中止等のお知らせにつきましては当センターのホームページの「出版・セミナーのお知らせ」欄に掲載しますので事前にご確認下さい。既にお申込を頂いている方に関しては個別にご連絡をさせていただきます。
- ◆先にお申込をされていても入金された人数が定員に達し次第、受付を終了しますので予めご了承ください。

★お申込先 (公財)日本住宅・木材技術センター 総務情報部あて FAX: 03-3647-3840

木造小屋組の耐風性能向上のための設計施工技術地域講習会 ～近年の台風被害を踏まえた木造小屋組の耐風性能向上のための留意点と対策の解説～ 受 講 申 込 書

- ★お申込手順 ① この申込書を受け付けましたらお振込のご案内をメールにてお送り致しますのでお振込をよろしくお願い致します。
② お振込の確認が取れ次第、受講票をメールにてお送り致します。セミナー当日、送付された受講票を持参して受付にご提出下さい。

★お申込会場

仙台会場
2022年2月16日(水)

★該当項目にチェック及び人数をご記入ください

テキスト込み・一般: 2,970円 _____ 名

テキスト込み・住木センターの賛助会員
: 2,673円 _____ 名

テキスト不要(当日持参): 0円 _____ 名

※1名あたりの金額となります。テキスト込みをお申込の方は当日会場でお渡しします(会場での販売は行いません)

★受講者情報(必ずご記入ください)

出席者氏名(フリガナ)	e-mail
所在地(〒 _____)	TEL
勤務先名	FAX
CPD番号 又は 建築士番号 <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 該当する(空欄に番号をご記入ください)	賛助会員番号 <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 該当する(空欄に番号をご記入ください)

★請求書が必要な場合はご記入ください

お求めの書類の種類(○をつけてください) 請求書 ・ 納品書 ・ 見積書	宛名
書類への実印(公印 理事長名による印)の有無(○をつけてください) ・ 要 ・ 不要(角印、当センター名による印で可)	書類への日付記載の有無(○をつけてください) ・ 要 ・ 不要
入金予定日 年 _____ 月 _____ 日	問合せ先 氏名: 電話番号:

★複数名でご参加の場合はご記入ください

2人目参加者氏名(フリガナ)	CPD番号 又は 建築士番号
3人目参加者氏名(フリガナ)	CPD番号 又は 建築士番号
4人目参加者氏名(フリガナ)	CPD番号 又は 建築士番号

木造小屋組の耐風性能向上のための設計施工技術 Web 講習会

講習会内容のご紹介

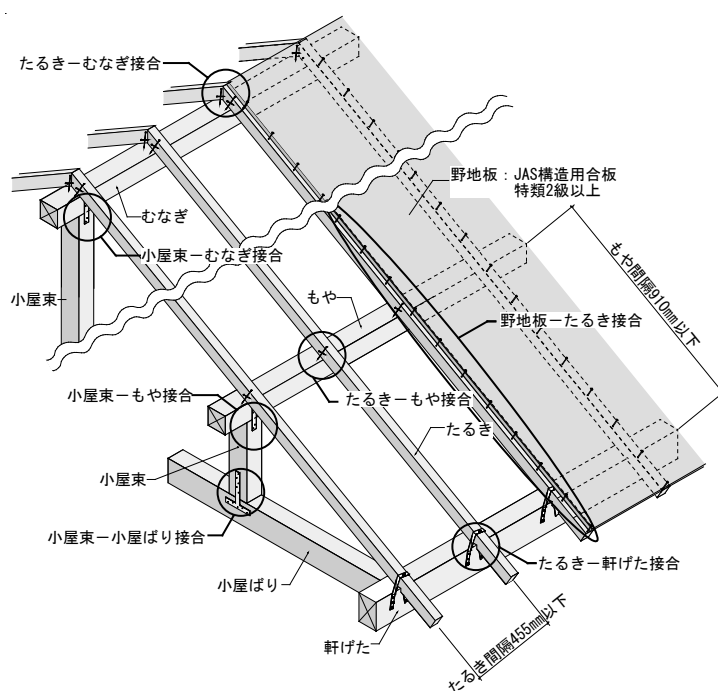
近年の台風被害の概要について紹介するとともに、国土交通省国土技術政策総合研究所においてとりまとめられた木造小屋組の耐風性能向上のための接合部仕様の内容に準拠して、基準風速と選択できる接合金物の早見表のほか、接合部の詳細な仕様や設計施工上の留意点と対策について、豊富な図解を用いてわかりやすく説明致します。



近年の台風被害の様子

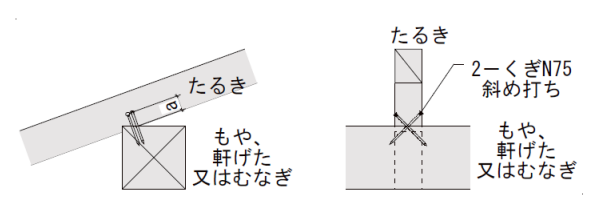
基準風速		30		32						
標準仕様 / 強風の実況に配慮した仕様		標準仕様	強風の実況に配慮した仕様 吹込みあり	標準仕様	強風の実況に配慮した仕様 吹込みあり					
接合部位※1	接合の種類	金物姿図 該当頁	樹種 (以上)	許容耐力 (kN)※2	通用の可否					
たるき-軒げた接合 (軒の出0.6m以下)	ひねり金物 ST-9,ST-12	194	J3	1.1	○	○	×	○	×	×
			J2	2.0	○	○	○	○	○	○
	ひねり金物 ST-15	194	J3	2.2	○	○	○	○	○	○
			J2	2.4	○	○	○	○	○	○
	四角穴付きタッピンねじ ST56.5F 風天打ち	208	J3	2.5	○	○	○	○	○	○
J2			3.1	○	○	○	○	○	○	
J3			4.4	○	○	○	○	○	○	
くら金物 S5	195	J3	4.4	○	○	○	○	○	○	
たるき-軒げた接合 (軒の出0.9m以下)	ひねり金物 ST-9,ST-12	194	J3	1.1	○	×	×	×	×	×
			J2	2.0	○	○	○	○	○	×
	ひねり金物 ST-15	194	J3	2.2	○	○	○	○	○	○
			J2	2.4	○	○	○	○	○	○
	四角穴付きタッピンねじ ST56.5F 風天打ち	208	J3	2.5	○	○	○	○	○	○
J2			3.1	○	○	○	○	○	○	
J3			4.4	○	○	○	○	○	○	
くら金物 S5	195	J3	4.4	○	○	○	○	○	○	
たるき-もや(むなぎ)接合	鉄丸くぎ 2-N75 2本斜め打ち	-	J3	0.6	○	○	×	○	○	×
			たるきJ3 もやJ1	1.0	○	○	○	○	○	○
	ひねり金物 ST-9,ST-12	194	J3	1.1	○	○	○	○	○	○
			J2	2.0	○	○	○	○	○	○
	ひねり金物 ST-15	194	J3	2.2	○	○	○	○	○	○
四角穴付きタッピンねじ	19	J3	2.5	○	○	○	○	○	○	

木造小屋組み接合部選択の早見表

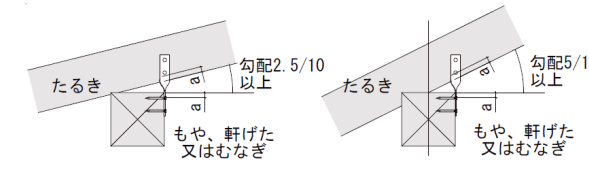


木造小屋組み接合部

〇くぎ N75 斜め打ち



〇ひねり金物 ST-9, ST-12, ST-15



接合部の詳細